

長崎かんぼこ王国設立 「ゆるキャラ」や関連グッズ なども開発して地域に貢献

「長崎かんぼこ王国」の活動は「長崎サミットプロジェクト」で、地域経済活性化の起爆剤のひとつとして位置付けられている。

所在地：長崎県長崎市幸町 6-18
TEL 095-820-1230
FAX 095-820-1222
URL : <http://www.suginaga.co.jp/>

代表取締役社長 杉永 生悟
設立：1986年(昭和61年)
資本金：500万円
従業員数：120名



「長崎かんぼこ王国」設立で、販路拡大

同社は、1962年の創業以来、豊富な水産資源を抱える同地長崎において水産練り製品の製造・販売を行っている。長崎地域は従前より水産練り製品の製造は盛んであるが、地元消費がほとんどで、域外消費の拡大が永年の課題であった。そうした中、同業他社や組合、行政、商工会議所、金融機関、大学等とのネットワークにより販路拡大を図る「長崎かんぼこ王国」を設立するなど地域貢献に大きく寄与しつつ、自社の売上拡大に努めている。



全国的知名度向上に寄与する戦略商品を開発し、普及・販路拡大に努める

同社は、豊富な水産資源と伝統に守られた製法をベースに、地元消費が主体であった長崎の水産練り製品の全国的知名度向上に寄与する戦略商品を開発し、展示会やフェア、イベントなどを通して普及・販路拡大に努めている。

地元の消費者の信頼を活かし、「長崎かんぼこ王国」を設立し、話題の「ゆるキャラ」や関連グッズなども開発し、地域を上げてのムーブメントを巻き起こすなど、地域を超えて話題を創出している。



戦略商品「長崎おでん」の開発にも寄与

業界のリーダー的存在として、王国ブランドの普及や練り製品販促策としての戦略商品「長崎おでん・ちゃポリタン」の開発に大きく寄与し、地域資源を活用した地域活性化に大きく貢献している。

また、「長崎かんぼこ王国」の活動は県・市・長崎大学・商工会議所・経済同友会・経営者協会・青年会議所の産学官で地域の総合的な活性化策に取り組む「長崎サミットプロジェクト」の中にも位置づけられ、地域経済活性化の起爆剤のひとつとして位置づけられ、確実に経済効果をあげている。



おでん

ちゃポリタン